



西郷義務教育学校の目指す子どもの姿とは！

これまでの学校便りでも、来年度の「西郷義務教育学校」開校に向けた様々な準備の進捗状況についてはお伝えしてきました。

その中でも、「現在の子ども達の課題に対して、どのような教育活動を行うことで、どのような子ども達の姿を目指すのか。」については、先生達が通常の業務を行いながら時間を惜しんで議論を重ねています。学校教育目標は、9月発行の学校便りでもお知らせしたとおりですが、今回はその「具体的な子どもの姿」の例とそこに向かうための取組についてご紹介したいと思います。

現在、3年生は高校入試に向かって日々努力しているところです。その中の面接練習の質問に「あなたの中学校の特色について話してください。」という内容がありました。



その質問に対する3年生のある生徒の答えが以下のような内容でした。

私の中学校は自分達で課題を見つけ、解決していくことができ、自主性のある生徒がたくさんいる学校です。全校生徒は30人で私のクラスは6人しかいません。しかし、西郷中では保育所からずっと一緒にすごしているため、何でもいい合える仲で、話し合いでも自分の思うことを一人一人が発言でき、深まった話し合いができます。よい話し合いができるからこそ課題を解決していくことができます。私は西郷中の生徒を誇りに思います。

まさに、このような内容の想いを持てる事こそ「西郷義務教育学校が目指す子どもの姿」の一つだと思います。他にも様々な姿を見せてくれる西郷中の生徒達ですが、このような内容を自分の言葉で言える事も目指す子どもの姿の一つとしてイメージしていただけると「西郷義務教育学校の目指す教育の方向性」がご理解いただけると思い紹介させていただきました。

ちなみに、その生徒が5月に同じ質問に答えた内容は以下のとおりでした。この8ヶ月で大きく成長を遂げたその生徒をはじめとした西郷中の生徒の姿が目に見えます。

私の中学校は全校生徒で約30人で人数が少ない学校でした。だけど、校舎はとてもきれいで今一貫校になる準備をしています。まず、活気・和気・根気をかけ協力し合える所です。

また、3学期からは生徒会と先生方でこれまでの取組を見直し、「自分達で課題を見つけ、解決していくことができ、自主性のある生徒」となるべく、真に課題を解決し、より良い西郷中学校をつくるための取組が始まりました。その一つが、生徒一人一人が自分たちの課題を見つけ、全員でその課題解決に取り組んでいくという試みです。

1月18日(月)には、その初めての試みとして、見つけた課題を全員で整理する活動が行われました。今後、生徒達はその課題をどのように解決していきながら成長していくのか楽しみです。

